



成長を実感できる2学期に向けて

校長 只木 雅実

[8月28日終業式の講話より]

今日から2学期がスタートします。生徒の皆さんの元気な姿を見ることができてとても嬉しく感じています。

夏休み中に、2年生がキャリア・スタート・ウィークを行いました。3年生は、4日間にわたって学習会を実施しました。そして、1・2年生は、猛暑の中、部活動に参加して、努力を続けた生徒が大勢いました。また、所属するスポーツ団体で、北信越大会や全国大会で入賞を果たした人もいました。

村上市主催の学校と地域を結ぶオープンセッションに2・3年生9人が参加して、5月のウォークラリーや、総合的な学習で取り組んでいる「イワカツ！」（岩船のためにできる活動）について、各班で作成した資料をもとに、紹介しました。このように夏休みも皆さんの自己実現を目指す姿や、前向きで自分らしい素敵な姿を、見つけることができました。



2学期は、「成長につながる行動」を身に付けて、皆さん一人一人に自分の成長を実感してほしいと思います。「成長につながる行動」を考える際には、「周りの人の意見を取り入れること」を大切にして、自分自身の「成長につながる行動」を考え、実践してほしいと思います。

例えば、「成長につながる行動」の例の1つとして、「自分の考えを発信すること」を提案します。

自分の考えを発信します。すると、他の人からの評価（フィードバック）が得られます。そこから自分の考えが正しいのか、間違っているのかに気づくことができます。もし、自分の考えが正しければ、自分に自信がつかます。また、たとえ間違っていたとしても、自分の考えを発信することで間違いに気づき、自分の成長のチャンスになります。自分の考えを発信することは、はじめは少し勇気があることかもしれませんが、発信することで自分の考えに対して評価をもらえる機会になります。ですから積極的に考えを発信していくことは、どちらにしても、自分自身の成長につながります。

そして、自分の考えを発信する方法も、様々あります。対面での発信、文章で、映像や画像で、音声で発信する方法などがあります。それぞれの場面に応じて、ふさわしい方法や伝え方で、発信することを考えていきましょう。

この他には、「感謝の気持ちを表すために進んであいさつをすること」を、1学期以上に進めてみるのはどうでしょうか。自分のあいさつによって、相手に気持ちが伝わったか、どんなあいさつであれば相手に気持ちが伝わるのかを考えてみることは、自分の成長のチャンスになるでしょう。

- ・「成長につながる考え方や行動」を身に付けましょう。
- ・周りの人の意見を取り入れることで成長のチャンスを作っていきましょう。

2学期は、「体育祭」に始まり、「合唱祭」や「いじめ見逃しゼロスクール」、総合的な学習の時間の「イワカツ！発表会」など、多くの行事や活動があります。今学期も、自分の夢・希望・目標の実現に向けて、日々取り組む皆さんを、岩船中学校の先生方と岩船地域の皆さんが、一丸となって支えていきます。

8/28 2学期始業式 代表生徒の「2学期の抱負」

1年生代表

最初に私の中学生最初の夏休みで頑張ったことを2つ紹介します。1つ目は、計画的に宿題をしたことです。私は、1学期の終業式の日、夏休みの勉強の計画を立てました。夏休み中は、その計画表を見て勉強をコツコツ進めていったので、宿題をすべて期限内に提出することができました。2つ目は、ワークに力を入れたことです。夏休み明けすぐには、定期テストがあるので、1学期に習ったことを忘れないように、今まで習ったことをすべて振り返りました。毎日たくさんワークを進めたので、大変でしたが、定期テストの備えになるといいです。

長かった夏休みも終わり、今日から2学期が始まりました。私の2学期の目標を4つ紹介します。1つ目は、テスト勉強を計画的に行うことです。1学期はテスト勉強期間中に用事などの都合で勉強できない日があると、次の日が大変になってしまったことがあったので、予定などを考慮してバランスの良い計画を立てて、テストで良い点数がとれるようにしたいです。

2つ目は、自学をたくさんすることです。1学期は自学の提出頻度があまり良くなかったり、ワークをする回数が多かったりしたので、2学期は時間を見つけてワーク以外の自学をたくさんできるようにしていきたいです。

3つ目は、1度も学校を休まないことです。早寝早起きを心がけて、メディアは見すぎず、毎日欠かさず三食しっかり食べて、元気に学校生活を送れるように日頃からメリハリのある生活をしていきたいです。

4つ目はソフトテニスの大会を頑張ることです。今年の秋は、大会が2つもあるので、月、木の練習以外にも、時間を見つけたら素振りをしたり、実際に打つような練習をしたりして、大会で少しでも有利になるように努力していきたいです。

2学期は1学期の反省を生かして楽しい学校生活を送っていきたいです。

2年生代表

僕は、2学期になって頑張りたいことが3つあります。

1つ目は、部活動です。僕は、バスケットボール部の副部長をやっています。部長をサポートできるようにしたいです。またプレーの面では、フリーのシュートを外してしまうことや、ディフェンスでは相手に簡単に抜かれてしまことがあります。シュート成功率8割を目指し、ディフェンスでは、相手に抜かれそうになっても諦めずについていけるように、しっかりと練習をしたいです。

2つ目は、勉強です。僕は、国語と社会が苦手で、話が頭に入ってこないことがあります。授業内容をしっかりとノートに書き、集中してしっかりと話が聞けるように頑張りたいです。

3つ目は行事です。特に体育祭では僕は応援団になりました。全校で盛り上がるような応援ができるように頑張りたいです。

体育祭まであと2週間です。みんなで頑張っていきましょう。

3年生代表

私が夏休みに頑張ったことは2つあります。まず1つはサッカーです。5月から10月まで県リーグがあり、夏休み中の練習にも取り組み、チーム強化のためにたくさん練習試合もありました。ですが、だらけることなく、しっかりと、真剣に取り組むことができました。もう一つは七夕です。今年も村上では七夕があり、4日間毎日獅子舞のお囃子をしました。町を歩く中で、自分の周りにある文化や伝統を大切にしていきたいと改めて思いました。そして、2学期でもイワカツ！などを通して、地域と関わっていききたいです。

2学期に頑張りたいことは、受検生として正しい姿であることと、体育祭の団長として責任をもつことです。段々と受検が近づき、テストにも本気で頑張らなければなりません。受検に向け、毎日の生活習慣や勉強習慣をもう一度改める必要があると夏休み中に思いました。まずは、小さな目標を作り、苦手科目は少しでもできるように、得意科目はさらに伸ばせるようにしていきたいです。そして、中学校生活の体育祭は今年が最後です。私は、1年生のころから団長に憧れ、毎年応援リーダーとしてたくさんの先輩の姿を見て学びました。今年自分がみんなを引っ張る存在として、何事にも責任をもち、取り組みたいです。また、相手への言葉使いや態度を今一度改め直して、体育祭を盛り上げられるよう、これからも本番に向けて準備していきます。

村上・岩船地区わたしの主張大会（8/22）

村上市教育情報センターで開催された私の主張大会では、岩船中学校を代表して、3年早川莉世さんが発表しました。声での会話と文字での会話の違いや、コミュニケーションとして効果的な活用方法について考えをまとめ、自分の言葉で堂々と発表することができました。



声での会話・文字での会話

学校代表 3年生徒

「会話」。それは私たちにとって、なくてはならないコミュニケーション手段のひとつです。生きていく上で、誰とも会話せずに過ごすというのは、とても難しいことではないでしょうか。自分の意思を伝えるという意味でも、相手の意思を確認するという意味でも、会話のない生活など考えられません。それほど「会話」というのは、私たちの生活の中に当たり前のように存在しています。

ところで皆さんは、「会話」という言葉から、どのような場面を思い浮かべるでしょう。仲間同士が笑顔でおしゃべりしている姿。数人のグループで何かを相談している姿。また、今日一日の出来事を家族で報告し合っている様子。そんな場面でしょうか。私も同じです。

「会話」には、声があり、表情があり、身振りや手振りなどのジェスチャーがあるもの…というふうに、無意識に思い込んでいます。

しかし、スマホやタブレットなどが大きく普及し、ひとり一台に近くなった現在、「会話」の質やイメージもかなり変わってきているようです。先日、ニュースで知ってびっくりしたのですが、お互いの目の前にいる友達同士がスマホのトークアプリを使って「会話」をしていたり、同じ家にいる親子がそれぞれの部屋にいながらスマホを介して「会話」をしていたり…という姿も、めずらしいことではないそうです。私はこれを聞いてとても驚きました。声をかければ届くような近い場所にいる人同士がスマホで「会話」している。これが普通のことだとは、私には思えませんでした。

もともと私がイメージしていた、声があり表情がある会話を「声での会話」とするならば、このようなSNSでの会話は「文字での会話」と呼ぶことができるでしょう。

なかには、「近くにいる人とちゃんと声で会話しないなんて、ありえない。お互い顔を合わせ、相手の目を見て言葉を交わすのが『会話』だ。」と強く主張する人もおられることでしょうか。私も最初はそう思っていました。ですからきっと、そのような考えの方々も少なくないと思います。でも、もしかすると、「声での会話」と「文字での会話」、それぞれに良いところがあるのかも知れません。

例えば、「声での会話」で相手に何かを伝言するとき、正確に伝わらずトラブルになった経験はないでしょうか。また、言われたことを忘れてしまったという経験はないでしょうか。しかし、「文字での会話」では、このようなトラブルをかなり防ぐことができます。なぜなら、「文字での会話」

では、文字という目に見える形で残すことができるからです。事務的な内容を正確に伝えるには、「文字での会話」はとても適しているのです。

家族との会話でも、「明日の出発と帰宅の時刻を知らせる」とか、「明日の時間割を伝える」などという場合には、「文字での会話」を使うと便利なのかも知れません。

ただ、注意しなければならないこともあります。先ほども述べたように、「文字での会話」には声がないため、声の強弱やスピードもなく、感情がとても伝わりにくいという点です。「ありがとう」という感謝の言葉も声がないことで温かさが半減しますし、「やめてよ」などという言葉の際には、笑って言っているのか、怒って言っているのか、文字だけで判別することはとても難しいからです。

「声での会話」は、自分の気持ちを伝えることは得意ですが、情報を分かりやすく知らせることは不得手です。また「文字での会話」は、情報を整理して発信することは得意ですが、感情を伝えるのは苦手なようです。

このことから、これからの時代に生きる私たちは、より適切な「会話」を使い分けていく必要があるのではないのでしょうか。

「会話」というのは顔を合わせてするものだという考えは根強いものがあると思います。もちろん、相手の目を見て表情を読みとって会話するのはとても大切なことですし、それが会話の基本だとも感じます。それを踏まえた上で、「声での会話」と「文字での会話」それぞれの長所、短所を受け止め、両方の会話を上手く活用していけたらいいなと思っています。

養護助教諭 着任のごあいさつ

養護助教諭の鈴木千代子と申します。公立小学校・中学校・高等学校の養護助教諭を務めて参りました。

このたび、伝統ある岩船中学校に勤務することができて、とても嬉しく思っております。岩船中学校の生徒の皆さんの心身の健全な成長のために、精一杯頑張る所存です。よろしく願い申し上げます。



9月の主な予定

9/5(火) 預り金引落日

7(木) 体育祭予行練習

8(金) 体育祭前日準備

9(土) 体育祭 [10(日)体育祭予備日]

11(月) 体育祭振替休業日

12(火)~19(火)テスト前部活動停止期間

14(木) スクールカウンセラー勤務日(PM)

13(水)・14(木)放課後学習会



9/19(火)~20(水) 第2回定期テスト

20(水) PTA 講演会 (5・6限)

21(木)~29(金) 秋の交通安全街頭指導

22(金) 3年防災教育 (5,6限神林中)

25(月)~29(金) 衣替え移行期間

25(月) 2年応急手当講演会 5限

28(木) スクールカウンセラー勤務日(AM)

29(金) 第2回英語検定

【お知らせ】

9/9(土)は、体育祭で登校日となります。開会式は8:40です。生徒は弁当持参で、午後は、体育祭の振り返り等を行います。振替休業日は、9/11(月)となります。実施の可否は、当日6:10までにtetoruとホームページでお伝えします。

なお、熱中症予防の観点から、猛暑が予想される場合も、荒天時同様延期となる場合があります。半日日程での体育祭となっておりますが、保護者・地域の皆様は、熱中症対策(日傘、帽子、飲み物等)をお願いいたします。